

# ボアホールスキャナーシステム

## BSM-100 取扱説明書

### BSM-100 の使用前の注意事項

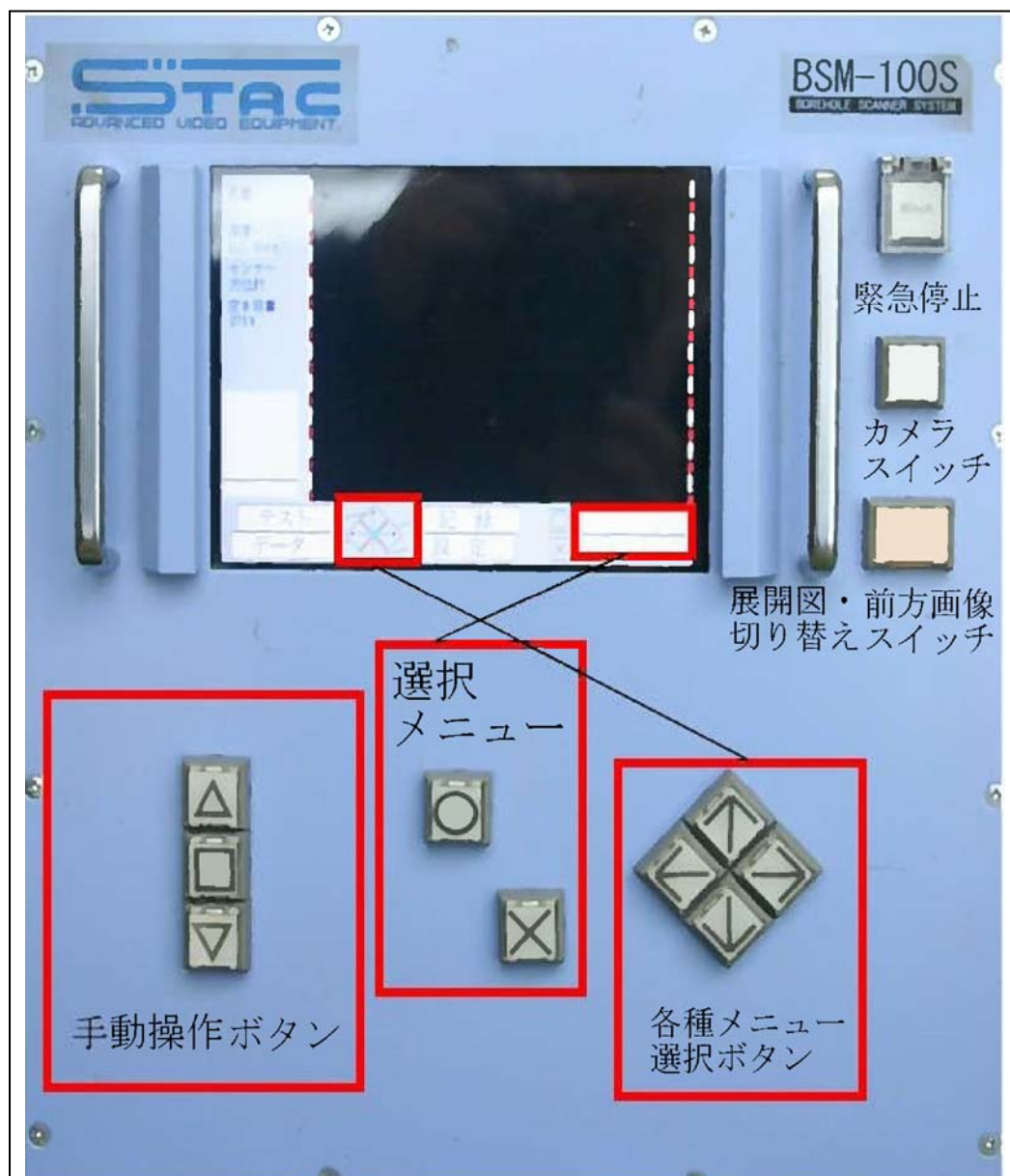
制御器の電源が入っている状態で、ケーブル類を絶対に外さないで下さい。外しますと負荷がかかり故障の原因になります。

1. ケース内の機材を確認して下さい。

- ①ウインチ ②制御器 ③アダプター ④深度計  
⑤プローブ ⑥手巻きハンドル ⑦センターライザー



# 制御器 ボタン説明



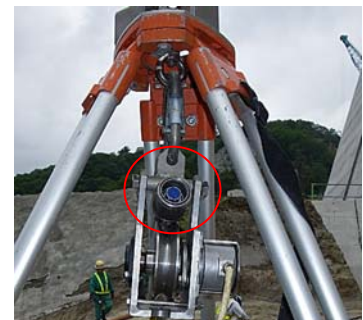
## 2. 作業手順

1) 深度計（1 m 5 0 cm位の高さ）を、ボーリングマシン  
のワイヤーに吊り下げる。

2) ウインチのケーブルを手巻きハン  
ドルで3 m程送り出す。



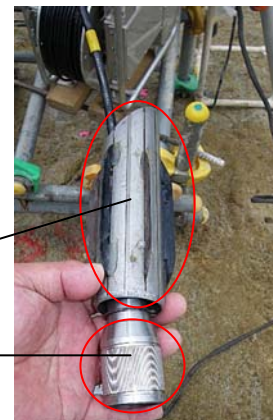
3) ケーブル接続のコネクターを深度  
計に通す。  
(金具を外さずに、深度計をセットすることが  
出来るようになりました)



4) 上部設置用センターライザーにコ  
ネクターを通しプローブにセット  
する。

上部設置用センターライザー

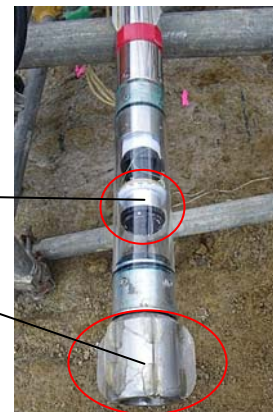
コネクター



5) 下部設置用センターライザーをプ  
ローブにセットする。

カメラ

下部設置用センターライザー

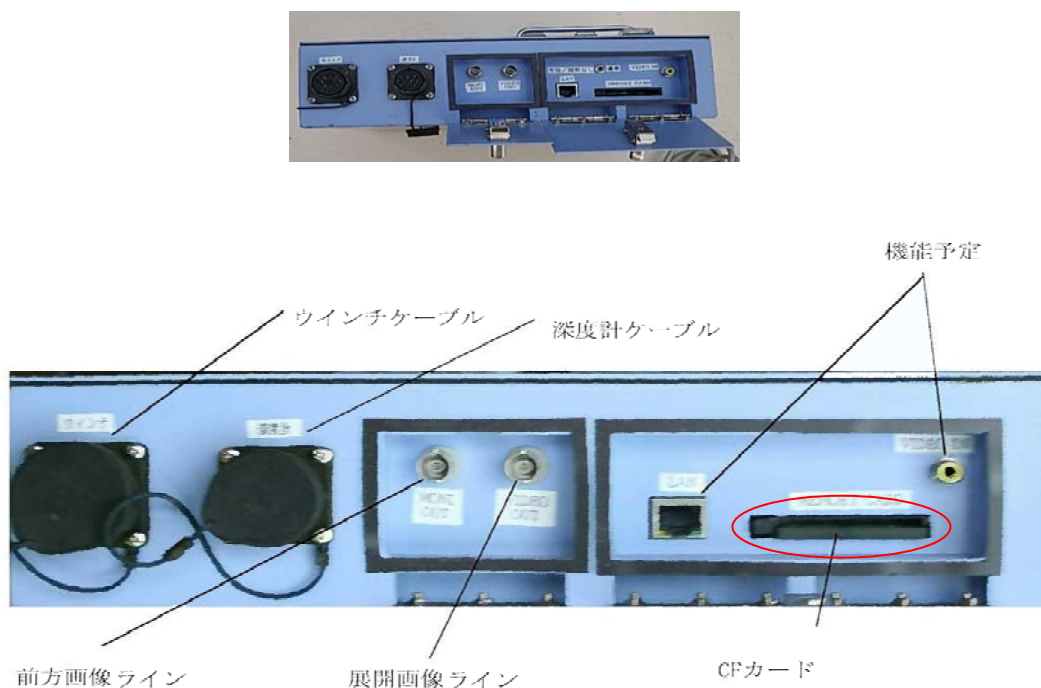


6) プロブを吊り下げ状態にして、孔の中心にくるように、ロープ等で調整する。

7) 制御器に CF カードが差し込まれていることを確認して下さい。

※注1 CF カードが差し込まれていないと制御器は動作しません。  
尚、CF カードを差し込む際は、ゆっくりと最後まで差し込んで下さい。強く差し込みますと故障の原因になります。

制御器 右側面各部名称



8) 制御器をウインチに設置し、ケーブルを所定の位置に接続する。

※注2 接続箇所によってケーブルのコネクター部の大きさが違います。  
雄ピン雌ピンを確認して差し込んで下さい。  
コネクター部を右に締め付けて下さい。





- 9) 制御器の左側面のメインスイッチを押し電源を入れて下さい。  
(立ち上がるまでに、少し時間がかかります)

※注3 深度計（下方計測の場合は、深度が増えて行く）と方位計（数字の変動）が正常に動いているかの確認を行って下さい。

制御器 左側面各部名称



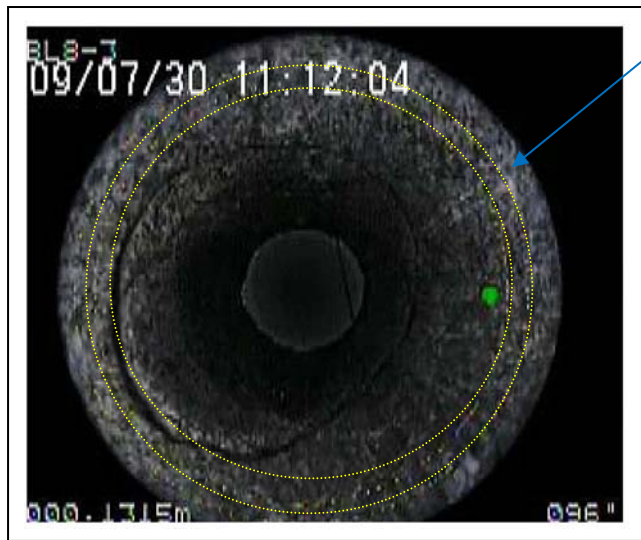
- 1 0) 制御器が立ち上がったら、正面右上に3つ並んでいるボタンの一番下にある切り替えスイッチを押して前方画像に切り替えて下さい。
- 1 1) 切替後、制御器のモニターが青色になっていたら、プローブのスイッチを押して前方画像を確認して下さい。
- 1 2) 確認が出来たら、切り替えスイッチを押して展開図画面に切り替えて下さい。
- 1 3) 撮影を開始する前に設定を行います。  
制御器、右下の上下左右の矢印ボタンの下矢印ボタンを押すと設定画面に切り替わります。

制御器 設定画面

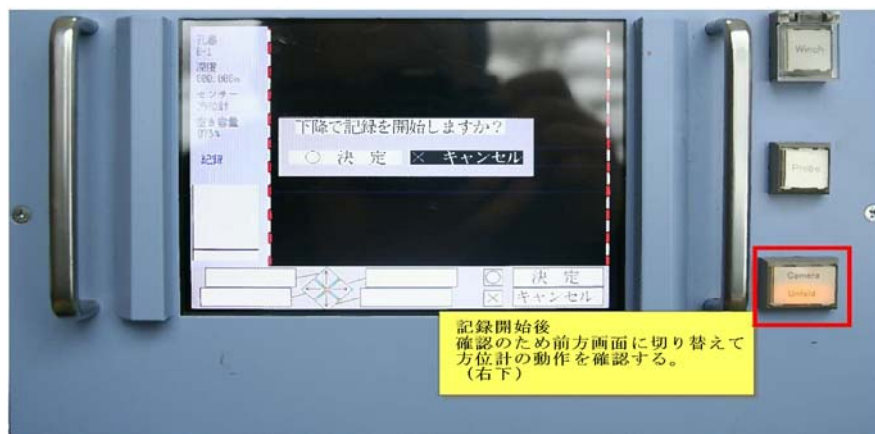


- 1 4) 設定画面に切り替わったら、孔番の設定を行います。  
まず制御器中央にある○ボタンを押します。  
そして、上下左右ボタンを操作して、目的の文字に移動し○ボタンを押して確定します。  
何度も同じ操作を続けて（例 B-1）孔番を入力する。
- 1 5) 孔番を入力した後、下矢印ボタンを何度か押し続け、最後に左矢印ボタンを押すと **SET** が反転表示になりますので、○ボタンを押して確定して下さい。  
※注 4 次の設定に移る際は制御器中央の×ボタンを押して、その後下矢印キーを押します。
- 1 6) 深度設定は、上下矢印ボタンを操作し数字を設定します。数字設定後は、右矢印ボタンで **SET** に合わせ○ボタンを押して確定します。
- 1 7) センサー切替は、初期設定で方位計になっていますので、傾斜孔の場合に限り右矢印ボタンで傾斜計に設定して下さい。
- 1 8) 光量調整の設定は通常 3 を標準としています。  
孔壁の色に合わせて、左右の矢印ボタンを操作して数字（1～5）を選択して下さい。  
確定するには○ボタンを押して下さい。
- 1 9) 全て設定後、×ボタンを 2 回押して初期画面に戻し、上矢印ボタンを押してテストメニューに切り替えます。
- 2 0) テストメニューになったら、右矢印ボタンを押して手動操作に切り替えます。  
その後、制御器左下の手動操作ボタン△（上）▽（下）と□（一時停止）を押して、プローブを上下に操作します。
- 2 1) 切替スイッチを押して、前方画像に切り替えます。

- 2 2) ケーシング尻かG Lに画面内の黄色の点線の輪がありますので、上下矢印ボタンで位置合わせをします。



- 2 3) 再度、切替ボタンを押して展開画面に戻り、×ボタンを押して初期画面に戻って下さい。
- 2 4) 初期画面に戻ったら、右矢印ボタンを押して記録画面に切り替えます。記録を選択した後、下矢印ボタンを押して下降で記録を選択し、○ボタンで記録を開始します。



- 2 5) 記録を終了するには、○ボタンを押して一時停止し、×ボタンでデータの保存を行います。保存されると初期画面に戻ります。

- 2 6) 保存したデータの確認をするには、左矢印ボタンを押しデータを画面に表示して、目的のファイルを上下矢印ボタンで選択します。  
 選択後、左矢印ボタン、次に下矢印ボタンを押すと再生されます。



## 再生画面



- 2 7) 撮影した画像が確認出来たら、終了です。  
 ウインチを巻き上げて、プローブを回収して下さい。  
 再度、同じ孔の観測を続ける場合には、上昇観測で行って下さい。
- 2 8) 全ての観測が終了したら、制御器の左側面のメインスイッチを押し電源を落として下さい。



2 9) 電源が落ちていることを確認し、制御器から CF カードを抜いて下さい。

3 0) 制御器から抜き取った CF カードのデータをパソコンへコピーして下さい。

3 1) コピーしたデータをコンバートソフトで読み込み、データを変換出来るかどうかを確認して下さい。

※注 5 コンバートソフトで変換出来ないデータは、観測のやり直しです。手順書 9) からやり直して下さい

※注 6 変換が出来なかったデータは消去せずに残しておいて下さい。

3 2) 組み立てと逆の順番で、機材を外して下さい。

※注 7 コネクター等は、左に回して引き抜きをお願いします。